

(すぎもと なおみつ)

杉本 亨光氏 (当時、京都府立鳥羽高校3年生)

(きのした たかのり)

木ノ下貴紀氏 (当時、私立綾羽高校3年生)



平成22年2月20日午後1時50分ごろ、京都市伏見区中山町の市営住宅で火災が発生した。2人は「火事だ!」という声に気付いて現場に駆けつけ、2階の窓際の部屋に取り残されている4歳の男児を発見。黒煙が立ち込める中、杉本さんが排水パイプなどをよじ登り、泣きながら怖がる男児を肩に担いで救出。木ノ下さんは窓の下で落ちそうになる2人をしっかりと支えた。杉本さんはその後、大相撲の春日野部屋へ入門。木ノ下さんはケーキ職人として修行中。=写真は2月21日、京都の山科署で感謝状を受け取る2人(手前が杉本さん、後ろが木ノ下さん)。

国際キワニス財団英雄賞

ロバート P. コネリーメダル

メダルにまつわる物語

1966年9月23日金曜日、ロバート P. コネリー・イリノイ洲ライル・キワニス会員(34歳)は体に障害のある女性が線路に落ちたのを見て、折しも列車が接近していたので救出しようとして線路に降りました。しかしロバートがその女性を線路から引き上げる間もなく列車に轢かれ二人は亡くなりました。そのコネリーの英雄的行為の直後、国際キワニス理事会は「個人の心からの行為」という言葉に彼の残した素晴らしい劇的な行為を讃えロバート P. コネリーメダルを制定し、1967年第52回国際キワニス年次総会ヒューストン大会で発表しました。この「個人の心からの行為」こそまさにキワニスの精神です。メダルは死や危険を顧みず奉仕をする人々を讃えるもので、メダル受賞者の推薦はキワニスクラブが行い、メダルはキワニス会員または会員以外にも贈られます。

メダルの授与について

メダル被推薦者名は国際キワニス財団理事会に提出、審査され、最終決定となります。受賞の場合クラブに連絡が入り、受賞者はそのクラブや地区総会等の特別な場で栄誉を讃えられます。今日までおよそ500個のロバート P. コネリーメダルが英雄に贈られました。

■推薦条件

1. 死や怪我の危険を顧みず、わが身を挺して人の命を救った人。被推薦者はキワニアンに限りません。
2. その救助行為が職務でないこと。
3. 家族の生命や健康のために危険をおかす行為はコネリー賞の選考範囲には含まれません。
4. 救命行為発生後、5年間の中にキワニスクラブから推薦を受けることとします。